

平成29年度 第4回 柳川みやま在宅医療介護連携推進研修会 参加者アンケート結果

(開催日時) 平成29年11月24日(金) 19:00~20:30

(開催場所) 柳川山門医師会館 1階 講堂

○ 参加者数 : 84名(男性46名 女性38名)
○ アンケート回収数 : 71名
(回収率 : 85%)

(テーマ)

「認知症・独居のため在宅復帰が困難な高齢者の支援」

事例提供担当:金子病院 地域連携室 NS 山田 加代子

(1・2)回答者の内訳

職種	所属	病院	診療所	歯科診療所	薬局	訪問看護 ステーション	居宅介護 支援事業所	特別養護老人ホーム	行政機関 地域包括支援センター	社会福祉協議会	その他	無回答	計
医師		2	9										11
歯科医師				5									5
薬剤師					8								8
看護師		6				8						1	15
保健師									3				3
歯科衛生士				1								1	2
MSW/PSW等		1											1
OT・PT・ST等						1							1
ケアマネジャー							6	2		1	1		10
介護福祉士								1			1		2
民生委員									7				7
ボランティアコーディネーター									1				1
事務員									2	1			3
その他									1	1			2
計		9	9	6	8	9	6	3	14	3	2	2	71

(3)参加者の年齢区分(アンケート回答者71名中)

- ◆ 20代 … 1名 30代 … 13名 40代 … 14名 50代 … 19名
- 60代 … 18名 70代 … 4名 無回答 … 2名
- ◆ 男性 … 29名 女性 … 18名 無回答 … 23名

(4)参加回数

- ◆ 初参加 … 20名 2回目 … 10名 3回目 … 10名 4回以上 … 29名
- 無回答 … 2名

(5)本日の研修会はいかがでしたか。

- ◎ 大変参考になった(とても) ○ 参考になった(どちらかというと) □ どちらでもない
△ あまり参考にならなかった(あまり) × 参考にならなかった(全然) (人)

		◎	○	□	△	×	無回答
1	研修の目的が明確に設定されていた。	44	19	2	3	2	1
2	今回の研修は、今後の業務に活かせる内容であった。	44	13	7	6	0	1
3	研修は分かり易い順序で進められていた。	44	14	8	2	2	1
4	会場は快適な環境であった。	45	18	4	1	2	1
5	参加人数は適切であった。	48	14	2	4	2	1
6	グループ討議は有意義であった。	47	17	2	2	3	0
7	今後も参加をしたい。	43	15	8	3	2	0

(6) 今回の研修会に参加しての気づき・感想などを具体的にお聞かせください。

【 医師 】

- ・ 行政の財源の問題は厳しいですね。やはり、周囲の家族が金銭面でサポートしなければダメなのは。本人の意向にそえない場合もあるから。
- ・ ファシリテーターが話しすぎるとディスカッションの盛り上がりが欠けるようです。
- ・ グループ夫々のテーマをもたせたのは良い。

【 歯科医師 】

- ・ 良かったです。

【 薬剤師 】

- ・ 回数を重ねる毎に新しい発見があり、大変役に立った。
- ・ どこも同じような課題をかかえていること。
- ・ 医療と行政のかかわりが認知症を支えていく大きなポイント。
⇒ 地域住民 認知症の理解を地域みんなが出来る、行政支援が必要。
- ・ とても難しい事例でしたが、今後このような事例が増えていくのだと感じました。
- ・ 各職種の皆様から、その立場からの意見が活発に出て、とても有意義なディスカッションになりました。

【 看護師／保健師 】

- ・ 初めての参加でしたが、多職種のグループ討議は今後の業務で活かせる内容でした。
- ・ 検討課題がはっきりしていて、グループによってわかれており話し合いしやすかった。
- ・ 入院中の患者に対して、病院からの退院後訪問が医療保険で実施できる事を知りました。
- ・ 認知症の方の在宅生活には限界がある中で、どこまで支援していけるのかを考える機会になりました。
- ・ 意見がたくさん出て楽しい研修でした。
- ・ 多職種でのグループワークは回数を重ねて、スムーズに進行できたと思う。

【 歯科衛生士 】

- ・ 4グループは大変難し課題でしたが、多職種の方々の経験を聞けました。
- ・ 認知症に対する理解を深める、広める事の大切さを痛感しまして。とてもむずかしい検討会でした。退院時の情報提供やカンファレンスはもっと充実させるべきではないでしょうか？

【 ケアマネージャー 】

- ・ 多職種の方のそれぞれの意見を聞く事が出来ました。
- ・ 認知症の理解を地域住民に啓発することは、今後大切なことだと思いました。
- ・ 係が決まっていたのでスムーズにできた。

【 介護福祉士 】

- ・ 他職種の意見が聞いて大変勉強になった。貴重な意見を聞いて参考になった。

【 民生委員 】

- ・ 毎回勉強させていただき感謝しています。
- ・ 在宅訪問診療が、思うように受けられないようになって来ていることが、とても不満に思いました。お金の問題が大きいかかわってくるのが、そのことが一番ネックであることを思いました。
- ・ 回数を重ねて、やっと楽しく(グループワーク)参加できました。テーマは難しかった！！
- ・ 初めての参加でしたが、いろいろな職種の方の意見が聞いて良かったです。
- ・ 今回は民生委員の出番があってよかった。

【 その他（OT・PT・ST／管理栄養士／ボランティアコーディネータ／事務員 等）】

- ・ 認知症、独居の方支援に関して、勉強になりました。
- ・ 所属や職種の特性が発揮できるようになるとよいなと思いました。
- ・ 医療と介護の連携は進んでいるが、地域との連携がむずかしいと感じた。
- ・ 様々な職種の方の目線からの意見を聞き、大変勉強になりました。

(7)全体を通してのご意見・ご感想・今後行いたい研修などございましたらご自由にご記入ください。

【 医師 】

- ・ 認知症、独居などの症例が奥深いと思われる。懇親会(自費)があっても・・・いいのでは！？
- ・ 認知症に対する理解を夫々の住民の方々にお話しすることをテーマに！！

【 歯科医師 】

- ・ これからもどんどん行って下さい。ありがとうございます。

【 薬剤師 】

- ・ 認知症が進行せず、少しでもしっかりサポートし、改善できている市町村の講演。
- ・ 事例検討のテーマに「認知症患者がいるのに家族の無関心」を取り上げて下さい。

【 看護師／保健師 】

- ・ グループワークの発表がとてもよかた。
- ・ 回数を重ねて、顔見知りが増えてきた。
- ・ 困難事例では、行政の方に積極的に係わって頂けると、助かります。相談だけでもいいのでのってほしいです。書類を出してもらってからではなく、困っているケースではスピーディーに相談にのって頂けると助かります。
- ・ 実際の専門職を活用しながら実践することが必要と思います。データの集積。
- ・ 困難事例の事例検討以外にも、介護予防や自立支援の事例検討を行ってもいいのかなと思う。

【 ケアマネージャー 】

- ・ 各専門職の普段から気になっている質問等をもっと出来ればと思った。
- ・ お世話頂きありがとうございました。

【 民生委員 】

- ・ 自宅に帰られてからの生活が本当に大変だとつくづく考えさせられました。高齢化となっている現在、見守りも大変なことだとも感じています。
- ・ むずかしいことですが、もう少し時間(ディスカッション)がほしい。